

SUNSTAR

塗料非汚染ノンブリードシリーズ

窯業系サイディングボードに
最適な応力緩和2成分形タイプ

**B
N
e
type**

建築用シーリング材

ペンギンシール

MS2570typeNB

露出・塗装仕上 窯業系サイディング目地

2成分形変成シリコーン

JSIA F☆☆☆☆

JIS A 5758 F-12.5E-8020(MS-2)
JIS マーク表示認証製品



サンスターは「非汚染主義」

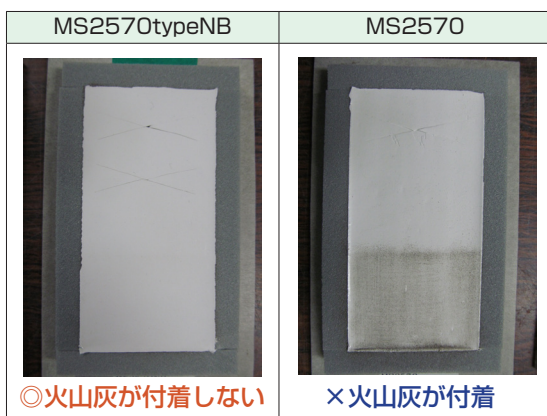
独自の合成・配合技術を駆使し、窯業系サイディング目地専用「ペンギンシール MS2570」の塗料非汚染ノンブリードタイプを遂に実現。

応力緩和型 2 成分形変成シリコーン系ノンブリードタイプ

特長

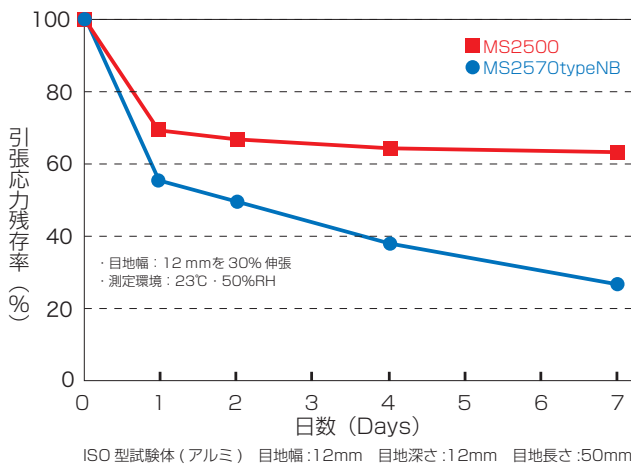
- ① 塗料付着性・汚染性に優れたノンブリードタイプのため、露出・塗装仕上目地の両方に使用できます。また、従来の「ペンギンシール MS2570」と同様に、低モジュラスで優れた応力緩和性を発揮するため、長期間安定した接着性をたもちます。

■ アクリル樹脂エマルジョン塗料の塗料付着性・汚染性試験例



「塗料汚染性試験」：日本シーリング材工業会規格 JSIA003 「建築用シーリング材に施工された仕上塗材の汚染性試験方法」に準拠して、「50℃加熱後」試験体の塗料表面に火山灰を振りかけ落とし火山灰付着状態を評価。

■ 応力緩和性能 (当社比)



- ② 2成分形のため均一に内部硬化し、翌日以降の振動による亀裂やしわ、垂れ発生の可能性は非常に少ないです。また、春夏秋冬のすべての季節に対応しているため、1成分形に比べ作業性や硬化性は年間を通じて格段に安定しています。

- ③ 業界最多の 1200 色の各社サイディングボード色対応と色検索システムを揃えています。

ペンギン会HP「Penguin Club」(<http://www.sho-han.com/>)で各社ボード色に対応したトナー色の検索ができます。

- ④ JISA5758タイプF-12.5E 耐久性区分8020に適合します (JISマーク表示認証製品)。

- 用途
- 窯業系サイディングボード目地
 - 押出成形セメント板の目地
 - 各種サッシの目地

※ガラス回りの目地シールには使用できません。

- ⑤ 日本シーリング材工業会が定める「ホルムアルデヒド汚染対策のための自主管理規定」に基づくノンホルムアルデヒド製品の登録品です。

認定番号 JSIA-004078 F ☆☆☆☆

性状

	基剤	硬化剤	トナー
外観	乳白色ペースト状	乳白色ペースト状	各色ペースト状
混合比(質量比)	100 / 12 / 5.2		
密度 (g/ml)	1.10		
有効期間	6ヶ月 (25℃以下貯蔵)		

性能 JIS A 5758 : 2010

試験項目		試験結果	
JIS A 5758 : 2010 による区分		F-12.5E -8020(MS-2)	
スランプ (mm)	縦	50℃	0
		5℃	0
	横	50℃	0
		5℃	0
弾性復元性 (%)		47	
定伸長下での接着性 (23℃ / -20℃)	アルミニウム板	破壊なし / 破壊なし	
圧縮加熱・引張 冷却後の接着性	アルミニウム板	破壊なし	
水浸せき後の 定伸長下での接着性	アルミニウム板	破壊なし	
体積損失 (%)		3	
耐久性		8020 適合	

※試験結果は代表値を記載しています。

引張接着性 JIS A 1439 : 2010 に準じる

被着体	処理条件	試験温度	M _{ISO} (N/mm ²)	T _{max} (N/mm ²)	E _{max} (%)
アルミニウム板	養生後	23℃	0.13	0.33	660
	加熱後	23℃	0.14	0.34	520
	水浸せき後	23℃	0.11	0.32	680
窯業系サイディングボード	養生後	23℃	0.15	0.33	650
	加熱後	23℃	0.15	0.37	330
	水浸せき後	23℃	0.11	0.28	700

※試験結果は代表値を記載しています。

塗料適合性 (塗料汚染性・付着性)

系統	塗料種類 (通称)	MS2570typeNB		MS2570	
		汚染性	付着性	汚染性	付着性
弱溶剤	2液超低汚染形ポリウレタン樹脂塗料	○	○	×	○
	2液反応硬化型ポリウレタン樹脂塗料	○	○	×	○
	2液反応硬化型フッ素樹脂塗料	○	○	×	○
水性	艶ありアクリル樹脂エマルジョン塗料	○	○	×	○
	1液反応硬化型アクリルシリコン樹脂塗料	○	○	×	○
	1液フッ素樹脂塗料	○	○	×	○
	2液有機無機ハイブリッド架橋型塗料	○	○	○	○
	1液高耐久低汚染型セラミックシリコン樹脂塗料	○	○	×	○
	2液超低汚染型フッ素樹脂塗料	○	○	○	○
	2液セラミック複合超低汚染 NAD 型アクリルシリコン樹脂塗料	○	○	×	×
	可とう型外装薄塗材 E (弾性リシン)	○	○	×	○
	防水型外装薄塗材 E (単層弾性)	○	○	×	○
	1液アクリル樹脂塗料	○	○	×	○

【汚染性】： ○：優秀 (火山灰付着なし) ○：良好 (火山灰付着30%未満) ×：不良 (火山灰付着30%以上)

【付着性】： ○：優秀 (はがれなし) ○：良好 (20%未満のはがれ) ×：不良 (20%以上のはがれ)

「塗料汚染性試験」：日本シーリング材工業会規格 JSIA003 「建築用シーリング材に施工された仕上塗材の汚染性試験方法」に準拠して、「50℃加熱後」試験体の塗料表面に火山灰を振りかけ落とし火山灰付着状態を評価。

「塗料付着性試験」：「養生後」「50℃加熱後」試験体を JIS K 5400 「塗料一般試験方法」の 8.5 付着性の「8.5.3 X カットテープ法」に基づき、カッターで X カットを入れた後、セロハン粘着テープを貼り付けて 90 度上向きに 1 回ひき剥がし付着状態を総合評価。

※本データは一応の目安であり、塗料メーカーやシーラー (下塗材) の種類により結果が異なる場合があります。必要に応じて確認試験の実施あるいは弊社に試験を依頼してください。

硬化特性

可使時間、指触乾燥時間の目安は、つぎの通りです。

施工温度	可使時間	指触乾燥時間
5℃	6 時間	24 時間以内
23℃	5 時間	24 時間以内
35℃	3 時間	24 時間以内

プライマーの選定

用途 (被着体)	品名
窯業系サイディング・セメント系ボード類 サッシ回り	プライマー US-3

●プライマー US-3 の接着可能時間

温度	時間
5 ~ 20℃	30 分 ~ 8 時間
20℃ ~	20 分 ~ 8 時間

●プライマー US-3 使用量の目安

	施工 m 数 (1 缶あたり)
小口切断面	90m / 缶
小口塗装面、サッシ面	180m / 缶

※ US-3、500ml / 缶

※ 目地幅 10mm × 目地深さ 10mm、施工ロス 30% で算出しています。

●プライマーの選定ならびに使用上の注意

■プライマー US-3 を必ずご使用ください。

■プライマーの塗布は、目地の清掃を十分にを行い、被着体の表面が乾燥している状態で行ってください。

■他のプライマーを使用したハケは使用しないでください。

■プライマーは、多孔質面には厚く、非孔質面には薄く均一に塗布してください。

■プライマー塗布後、8 時間以上経過したときは、再塗布してください。

■プライマーの塗布は、接着面以外に付着させないように注意してください。接着面以外に付着した場合は、ただちに溶剤に浸した布で拭きとってください。

■開封したプライマーはその日のうちに使いきるようにしてください。残る場合は、必要量を別の容器に取り出して使用してください。

■プライマーは、空気中の水分に敏感ですから、使用後は直ちにフタをしてください。

■プライマー US-3 の有効期間は製造後 12 ヶ月です。

(冷暗所 (25℃以下) 貯蔵、未開封)

ペンギンシール MS2570typeNB の留意点

- プライマーを塗布しないと接着しませんので、必ず専用のプライマー US-3 を使用し、塗布むら、塗り残しの無いようにしっかり確実に塗布してください。
- 目地際において、シーリング材の薄層部分があると経時で白化することがあります。薄層部分が生じないように施工には十分ご注意ください。
- 各種樹脂サッシ類については、事前に接着性を確認し採用可否を判断してください。
- シリコーンをコーティングしたテープ類は、ボンブレーカーとして使用しないでください。必ずポリエチレンテープを使用してください。
- 塗料など吹き付けは、施工後 48 時間以上（20℃）経過し、シーリング材表面が硬化している事を確認後、10 日以内を目安に施工してください。
- 水性シーラーや水性塗料をシーリング材上に塗布すると、はじくことがあります。また、水性塗料は経時により汚染（表面タック、変色）を生じることがありますので、ご使用になる場合は事前にシーリング材との適合性を塗料メーカー、または弊社にご確認ください。
- 油性、フタル酸系塗料および弱溶剤可溶性 1 液ウレタン樹脂塗料など酸化重合型塗料は、乾燥しませんので塗布しないでください。
- 給水用硬質塩化ビニル管回りには使用しないでください。
- プライマー US-5 をペンギンシール MS2570typeNB に使用しないでください。接着界面が軟化し、はく離する事があります。**
- ペンギンシール MS2570typeNB の有効期間（未開封）は、6 ヶ月です。

【ご注意】

ペンギンシール MS2570typeNB のトナー投入後の色相については、十分に確認しておりますが、色によっては色相が若干異なる場合がありますので、十分に確認した上でご相談ください。

施工上の注意

- 降雨・降雪時など下地が濡れているときは施工をしないでください。
- 湿潤状態の目地には、施工しないでください。硬化不良、接着不良、膨れなど不具合の原因となります。乾燥を十分に確認した上で、施工してください。
- 水分が混入しないよう注意してください。
- 施工面の清掃には、被着面を侵さない清掃洗浄剤を選定してください。アルコール類は使用しないでください。
- セットになっている基剤と硬化剤、及び専用のトナーを組み合わせ使用し、開封後は全部使いきるようにしてください。
- 硬化不良や表層のあばた現象を防止するためにも、気泡の巻き込みが少なく安定した混合ができる缶回転式混合機を必ず使用してください。その際、混合機の羽根（パドル）は必ず容量に合った 4L パドルをご使用ください。
- 混合は缶回転式混合機で均一に混合されるまで十分に行ってください（15 分間）。その際、混合比を必ず守ってください。混合の途中で羽根（パドル）についての材料の掻き落としを実施してください。
- 混合後にパドルを抜いた後のへこみは、ヘラでならさず缶を床にたたいてレベリングさせてください。
- エア巻き込みを防止するため、混合中はパドルを上下に動かさないでください。

取扱上の注意

- 本品は一般工業用途向けに開発・製造されたものです。本来の用途以外に使用しないでください。
- 直射日光や雨露のあたる場所を避け、湿気の少ない風通しの良い、冷暗所（25℃以下）に保管してください。
- 取扱中は、保護手袋・保護眼鏡を必ず着用してください。
- 取扱中は、換気に十分注意してください。
- 使用後の空容器は産業廃棄物として、許可を受けた専門業者に処理を委託してください。

こんなことが起こったら

- 皮膚についたとき・・・布切れなどで拭き取ってから、大量の水と石鹸でよく洗ってください。かゆみや炎症が発症した場合、速やかに医師の診断を受けてください。
- 目に入ったとき・・・きれいな水で十分に洗い（最低 15 分間）、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- 蒸気を大量に吸い込んだとき・・・空気の新鮮な場所に移動し、暖かく安静にした後、速やかに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだとき・・・水で口の中をよくすすいだ後、大量の水で吐き出させ、直ちに医師の診断を受けてください。
- 衣服についたとき・・・布切れなどで拭き取ってください。完全には取り除けませんので、十分にご注意ください。

その他、保管・応急措置・異常時（火災時、漏出時）・廃棄等の取扱上の詳細は、製品安全データシート（SDS）をご参照ください。

容量・荷姿

●金属缶仕様（缶径 217 φ用）

品名	容量	入数
ペンギンシール MS2570typeNB (基剤・硬化剤セット)	4L セット	2 コ
ペンギンシール 2570 トナー	200g	10 コ×3

●エコ CAN 仕様

品名	容量	入数
ペンギンシール MS2570typeNB エコ CAN (基剤・硬化剤セット)	4L セット	2 コ
ペンギンシール 2570 トナー	200g	10 コ×3

*混合にはエコ CAN 専用プランダーが必要です。缶径 217 φ用のパドルをご使用ください。

●プライマー

品名	容量	入数
プライマー US-3	500ml	10 コ

*プライマー US-3 は無色透明かつ紫外線で黄変しません。

可使時間調整剤

真夏や真冬など、厳しい環境下での作業には可使時間調整剤「硬化促進剤」・「硬化遅延剤」をご使用ください。ご使用は、1 缶（セット）当たり 1 袋までとしてください。特に、遅延剤を必要以上にご使用になると、硬化遅延を起こすことがあります。

- 硬化促進剤…「IB7000・MS2500・MS2500typeNB・MS2570typeNB・MS2970typeNS 共用硬化促進剤」をご使用ください。
- 硬化遅延剤…「IB7000・MS2500・MS2500typeNB・MS2570typeNB・MS2970typeNS・2570Type1 共用硬化遅延剤」をご使用ください。

ご注意

本カタログに記載する情報およびデータは、当社が細心の注意を払って行った実験結果に基づいて作成しましたが、ご使用に際しては、材質・使用条件により性能・特性など相違する場合がありますので、事前に十分ご検討、ご確認の上、ご使用いただきますようお願いいたします。また、当社の都合により記載内容を予告なく変更させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

サンスター技研株式会社

URL: <http://www.sunstar-engineering.com/>

東京営業所 〒105-0014 東京都港区芝 3-8-2(芝公園ファーストビル 4F)	TEL(03)3457-1990
札幌営業所 〒003-0807 札幌市白石区菊水 7 条 2-7-1(札幌流通倉庫東ビル 5F)	TEL(011)820-2580
仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区権町 2-4-22(仙台東口ビル 7F)	TEL(022)792-8192
名古屋営業所 〒464-0086 名古屋千種区宮場 2-4-7	TEL(052)722-6815
大阪営業所 〒567-0032 大阪府茨木市西野前町 5-1(京都銀行茨木ビル 7F)	TEL(072)631-4724
中国営業所 〒733-0833 広島市西区商工センター 5-15-25	TEL(082)277-8444
九州営業所 〒812-0025 福岡市博多区店屋町 8-24(九動呉服町ビル 3F)	TEL(092)281-3581

●取扱店



005(AR3)1512.10000K